

同 志 社 大 学

2009 年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2010 年 3 月 10 日提出

所 属	職 名	氏 名
文学部	教 授	勝 山 貴 之
研 究 題 目	16・17 世紀における地中海地図とシェイクスピア演劇	
研 究 成 果 の 概 要	<p>4 月—昨年、お茶の水女子大学で行った科研 (B)「イギリス初期近代における宗教と演劇文化の歴史的研究」プロジェクトのための研究発表の一部を「カトリック穏健派とプロテスタント遵法者—アンソニー・マンディと『サー・トマス・モア』』という題名で『主流』に投稿した。これは査読を経て、11 月刊行の第 71 号に掲載された。</p> <p>6 月～7 月—『オセロ』に関する論文の執筆準備。</p> <p>8 月—科研の基盤研究(c)「16・17 世紀における地中海地図とシェイクスピア演劇」の研究資料の収集のため、ハーヴァード大学図書館、コロンビア大学図書館、UCLA バークレイ校図書館を訪れた。ハーヴァード大学ではかつての恩師のひとりジェイムズ・エンゲル教授と面談した。</p> <p>11 月—『同志社大学英語英文学研究』第 85 号に、「プロスペローの“human care”—征服者ではなく庇護者たろうとするイングランド人の不安と葛藤」と題する論文を投稿した。(これは九州大学との科研研究成果の一部である。)原稿は査読を経て、12 月に刊行された。</p> <p>1 月—お茶の水大学主催・科研(B)「イギリス初期近代における宗教と演劇文化の歴史的研究」プロジェクトのための研究報告として、「カトリシズムと初期近代演劇」を執筆・提出した。これは 3 月下旬に科研チームの研究報告としてまとめられる予定である。</p> <p>2 月—関西シェイクスピア研究会 2 月例会において、「『オセロ』とイスラム世界」と題する研究発表を行った。これは 2010 年 10 月に開かれる日本シェイクスピア学会において、セミナーを主催するための準備としての研究である。</p> <p>3 月—10 月に予定されている学会セミナーのリーダーとして、現在、メンバーと研究方針およびスケジュールを計画中。</p>	